

東京都江戸東京博物館 調査報告書 第33集

浅草地域のあゆみⅡ —近代化と盛り場の変容—

2018年3月

東京都江戸東京博物館

表紙図版解説

永島春暁画「東京浅草寺井二公園地凌雲閣ノ高塔其他近傍吾妻橋遠景之真図」1891年（明治24）16200032～34

明治中期の浅草の賑わいを描いた錦絵で、様々な名所を多少方角を捻じ曲げた形で一枚の中に収めている。煉瓦造りとなった仲見世や、発行の前年に開業した凌雲閣と足元の六区をはじめ、花屋敷とそこにそびえる五階楼「奥山閣」、1887年（明治20）に隅田川最初の鉄橋となった吾妻橋など、近代浅草を象徴する様々な建物を見ることができる。画面左上には当時話題となった気球と、洋風建築を取り入れて様変わりした新吉原も描かれている。